



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月28日

上場会社名 愛三工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 7283 URL <http://www.aisan-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 小林 信雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 植木 洋次郎

TEL 0562(47)1131

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	77,267	28.7	4,154	—	3,660	—	2,499	555.5
22年3月期第2四半期	60,037	△34.1	△177	—	143	△95.1	381	△79.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	45.04	—
22年3月期第2四半期	6.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	120,753	61,311	49.5	1,077.35
22年3月期	122,353	61,285	48.9	1,077.21

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 59,780百万円 22年3月期 59,772百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
23年3月期	—	8.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)当四半期における配当予想の修正有無 有

23年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	6.9	6,500	49.3	5,700	28.7	3,400	115.1	61.27

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	55,509,096株	22年3月期	55,509,096株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	20,916株	22年3月期	20,644株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	55,488,335株	22年3月期2Q	55,488,726株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来の記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 期末配当予想につきましては、経営環境の先行きが不透明であることから、引き続き未定とさせていただきます。業績の進捗等を見きわめた上で、期末決算を目処にご提案させていただきたいと考えております。

(参考) 平成23年3月期の個別業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	95,500	2.7	1,500	141.3	2,000	10.2	1,100	84.1

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. <参考>四半期個別財務諸表（要約）	10
(1) 四半期個別貸借対照表	10
(2) 四半期個別損益計算書	10
5. 補足情報	11
連結売上高明細	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、各国政府の経済対策の効果などにより、景気は緩やかに持ち直してきました。また、自動車業界におきましては、国内のエコカー補助金による効果や、アジアを中心とした市場拡大により、生産は堅調に推移しました。

このようななか、当第2四半期連結累計期間の業績としましては、売上高は772億6千7百万円（前年同期比28.7%増）増収となり、営業利益は41億5千4百万円（前年同期は営業損失1億7千7百万円）となりました。また、経常利益は36億6千万円（前年同期比25.6倍）、四半期純利益は24億9千9百万円（前年同期比555.5%増）となりました。

地域別の業績は次のとおりであります。

#### [日本]

売上高は514億9千3百万円（前年同期比17.6%増）となり、  
営業利益は7億4千1百万円（前年同期は営業損失14億4千3百万円）となりました。

#### [アジア]

売上高は178億7千9百万円（前年同期比52.6%増）となり、  
営業利益は30億9千9百万円（前年同期比80.2%増）となりました。

#### [北米]

売上高は100億2千9百万円（前年同期比63.0%増）となり、  
営業利益は3億8千8百万円（前年同期は営業損失1億4千7百万円）となりました。

#### [欧州]

売上高は41億8千8百万円（前年同期比6.8%増）となり、  
営業損失1億1千2百万円（前年同期は営業損失3億6千9百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は減価償却による固定資産残高の減少などにより、前連結会計年度末に比べ16億円減少し、1,207億5千3百万円となりました。負債は、仕入債務の減少、借入金の返済などにより前連結会計年度末に比べ16億2千5百万円減少し、594億4千2百万円となりました。

また、純資産は利益剰余金の増加がありましたものの、為替換算調整勘定の減少により、前連結会計年度末に比べて2千5百万円増加の613億1千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億8千9百万円増加し、165億9千8百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、58億2千万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益や減価償却費によるもので、前年同期に比べ21億8百万円の収入増加となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、37億6千9百万円の支出となりました。これは主に固定資産取得によるもので、前年同期に比べ8億3千1百万円の支出増加となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億7千8百万円の支出となりました。これは主に配当金の支払によるもので、前年同期に比べ12億5千7百万円の支出減少となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、第2四半期の業績および足元の自動車生産動向をふまえ、売上高1,470億円(前期比6.9%増)、営業利益65億円(前期比49.3%増)、経常利益57億円(前期比28.7%増)、当期純利益34億円(前期比115.1%増)に修正いたします。

なお、前提となる為替水準につきましては、下半期1USドル=80円(通期1USドル=85円)を想定しております。

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要(連結の範囲の変更に伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、愛三熊本(株)を新規連結しております。

これにより連結子会社数は、24社となっております。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、従来の方法によった場合に比べ、税金等調整前四半期純利益は2千6百万円減少しております。

また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額は、2千6百万円であります。

なお、セグメント情報に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,997	15,288
受取手形及び売掛金	25,538	25,566
有価証券	905	893
商品及び製品	3,082	3,260
仕掛品	4,177	3,418
原材料及び貯蔵品	5,431	5,298
未収還付法人税等	226	161
繰延税金資産	4,469	4,562
その他	3,729	3,679
貸倒引当金	△156	△155
流動資産合計	63,401	61,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,680	14,831
機械装置及び運搬具（純額）	22,321	24,066
土地	5,419	5,235
建設仮勘定	2,406	1,824
その他（純額）	1,930	2,104
有形固定資産合計	46,757	48,062
無形固定資産		
のれん	448	572
その他	1,024	1,132
無形固定資産合計	1,472	1,704
投資その他の資産		
投資有価証券	2,111	3,147
繰延税金資産	3,376	3,613
その他	3,685	3,903
貸倒引当金	△52	△51
投資その他の資産合計	9,121	10,613
固定資産合計	57,351	60,380
資産合計	120,753	122,353